

## 公募公告

令和6年2月2日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

JAEA イノベーションハブ長 橋本 裕之

(住所) 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号

富国生命ビル19階

下記のとおり公募します。

### 1. 公募に付する事項

#### (1) 件名

疑似移動層を用いたMA分離プロセス最適化に関する研究

#### (2) 内容

別添実施計画書のとおり

#### (3) 履行期限

令和7年3月31日

### 2. 公募に参加する者に必要な資格に関する事項

#### (1) 公募参加資格

国又は機構の競争参加資格を有すると認められた者とする。なお、機構の競争参加資格の認定を受けていない者であっても、参加意思確認書を提出することができるが、その者が応募要件を満たすと認められ、競争的契約手続きに移行した場合に技術提案書等を提出するためには、技術提案書等の提出時までには、当該資格の認定を受ける必要がある。

#### (2) 公募に参加できない者

競争に係る契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者。資格審査申請書及びその添付書類に故意に虚偽の事実を記載した者等。

過去3年間で情報管理の不備を理由に当機構から取引停止を受けている者。

### 3. 応募要件

- (1) 疑似移動層形式のクロマトグラフィを対象としたシミュレーションコード及び最適化プログラムを有していること。
- (2) 疑似移動層を利用した分離プロセス構築に必要な知見及び実績を有していること。
- (3) 上記プログラム等を用いて、疑似移動層を利用した MA 分離プロセス条件の最適化を行った実績を有していること。
- (4) 疑似移動相クロマトグラフィ装置の設計に必要な知見やこれを整備した実績を有していること。

### 4. 応募要件等を満たす意思表示

本公募に参加を希望する者は、3項に示す応募要件を満たすことを証明する資料を参加意思確認書に添付の上、以下の期限までに「6. 連絡先」まで、持参又は郵送（書類書留郵便等の配達記録が残るものに限る。）により、提出すること。

上述の資料の様式は自由とするが、応募者の組織として意思決定が確認できる書類とする。

応募要件を満たす者があった場合には、機構は、応募要件の遂行能力を確認し、確認結果を書面にて通知する。

期限：令和6年2月16日（金）必着（郵送による場合も同様とする。）

### 5. 備考

- (1) 応募がなかった場合には、特定の者と随意契約を行う。
- (2) 応募があった場合で、かつ確認の結果合格者があった場合には、一般競争入札（総合評価落札方式）により決定することとする。その場合には別途公告する。
- (3) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

### 6. 連絡先

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

JAEA イノベーションハブ 研究協力課 奥津 朋子

TEL : 080-7432-2809

# 実施計画書

## 1. 委託研究題目

疑似移動層を用いた MA 分離プロセス最適化に関する研究

## 2. 委託研究の目的

日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)では、種々の抽出剤及びこれらを担持した吸着材を用いた溶媒抽出及び抽出クロマトグラフィによるマイナーアクチノイド(MA)の分離回収技術を進めている。

本研究では、抽出クロマトグラフィによる MA 分離回収フローシート条件の最適化に向けて、疑似移動層を使用した分離プロセスについて、シミュレーションにより装置仕様や分離条件の具体化を図り製品や廃液仕様を評価するとともに、疑似移動相クロマトグラフィ装置を整備する。また、これらのシミュレーションの実施や検証に必要なとなる各元素の吸着・溶離データを収集・整理する。

なお、本件は、経済産業省からの委託事業である「令和 5 年度高速炉実証炉開発事業(基盤整備と技術開発)」の一部として実施するものである。

## 3. 委託研究の範囲

- (1) 疑似移動層を用いた MA 分離プロセスシミュレーションの実施及び検証に必要な吸着・溶離データの収集・整理
- (2) 疑似移動層を用いた MA 分離プロセス条件のシミュレーションによる検討・評価
- (3) 疑似移動相クロマトグラフィ装置の整備
- (4) 報告書の作成

## 4. 委託研究の内容

- (1) 疑似移動層を用いた MA 分離プロセスシミュレーションの実施及び検証に必要な吸着・溶離データの収集・整理

下記「(2) 疑似移動層を用いた MA 分離プロセス条件のシミュレーションによる検討・評価」の実施及び検証に必要なとなる MA/ランタニド(Ln)相互分離用吸着材に対する各元素の吸着・溶離データ(分配係数、総括物質移動係数等)を収集・整理する。

なお、放射性元素に関する吸着・溶離データは原子力機構より提供する。

- (2) 疑似移動層を用いた MA 分離プロセス条件のシミュレーションによる検討・評価  
MA/Ln 相互分離用吸着材を用いた疑似移動層型の MA 分離回収フローシ

ートについて、シミュレーションにより MA 及び FP の分離挙動評価を行い、所定の回収率や DF を得るための装置仕様(カラム長、カラム数等)や分離条件を具体化する。また、各条件における製品や廃液仕様(元素組成や液量等)を評価する。シミュレーションの実施及び検証に必要な MA/Ln 相互分離用吸着材に対する MA 及び FP の吸着・溶離データは「(1) 疑似移動層を用いた MA 分離プロセスシミュレーションの実施及び検証に必要な吸着・溶離データの収集・整理」において得られた結果を利用する。

(3) 疑似移動相クロマトグラフィ装置の整備

上記のシミュレーション結果を実験的に確認するため、疑似移動相クロマトグラフィ装置を整備する。

(4) 報告書の作成

上記成果をとりまとめ、報告書を作成し、提出する。

5. 実施場所

受託者側実施施設

6. 研究期間

契約締結日～令和 7 年 3 月 31 日

7. 受託者側実施責任者

契約締結時に決定する。

8. 委託者側実施責任者

原子力機構 高速炉・新型炉研究開発部門 燃料サイクル設計部

酸化物燃料サイクルグループ

グループリーダー 佐野 雄一

9. グリーン購入法の推進

(1) 本契約においてグリーン購入法に適合する環境物品が発生する場合はそれを採用することとする。

(2) 本仕様に定める提出図書(納入印刷物)については、グリーン購入法に該当するためその基準を満たしたものとす。

## 10. 特記事項

本件は、原子力機構が経済産業省資源エネルギー庁からの委託事業である「令和5年度高速炉実証炉開発事業」の一部として実施するものであり、実施体制を変更する場合、原子力機構は経済産業省資源エネルギー庁の承認を得る必要がある。

従って、法人の合併又は分割等により本契約に係る権利義務を他法人へ承継しようとする場合には、事前に原子力機構(高速炉・新型炉研究開発部門 燃料サイクル設計部 酸化物燃料サイクルグループ)へ照会し、了解を得るものとする。

## 11. 添付書類

- ・ 提出書類一覧表(別紙1)
- ・ 支給物件表 (別紙2)

(別紙1)

提出書類一覧表

提出書類	提出期限	提出先	部数	備考
研究計画書	契約締結後速やかに	燃料サイクル 設計部 酸化 物燃料サイク ルグループ	紙媒体 2部	
成果報告書	研究期間終了時	JAEA イノベー ションハブ 研究協力課	紙媒体 2部	実験データ及 び報告書を CD 等(1部)に保存 し、紙媒体と共 に提出するこ と。

(別紙2)

添付支給物件表

	品名・仕様	数量	引渡し場所
1	MA/Ln 相互分離用吸着材	必要量	郵送